

2018年
5月15日

日仏社会学会ニュース

No. 47
日仏社会学会事務局

<記事>

1. 研究例会について
2. 2018年度日仏社会学会大会について
3. 大会「自由報告」の募集について
4. 『日仏社会学会年報』（第30号）への投稿論文等の募集について
5. 献本のご紹介
6. ホームページ、コラム欄へのご協力をお願い
7. 新入会員のご紹介
8. 会費納入をお願い

1. 研究例会について

以下のとおり、日仏社会学会研究例会を開催します。奮ってご参加ください。

日時：2018年7月28日（土）15：00－17：00

場所：関西大学大阪梅田キャンパス（大阪府大阪市北区鶴野町1番5号）

報告者：山本由美子（大阪府立大学）

報告タイトル：「子産みの統治性、来たるべき解放」

コメンテーター：北垣徹（西南学院大学）

司会：江頭大藏（広島大学）

2. 2018年度日仏社会学会大会について

2018年度の日仏社会学会大会は、10月6日（土）、文京学院大学・本郷キャンパス（東京都文京区）において、同大学関係各位のご協力により開催する運びとなりました。大会シンポジウムでは、「生命（いのち）の時間感覚」をテーマに、誕生する前の生命、労働、エイジングという人生のいくつかの局面を取り上げ、時間の観点から人間の生の在り方とその境界について議論を行う予定です。大会のスケジュール及びシンポジウムの具体的な内容、報告タイトル等については9月に発送予定のプログラムでお知らせします。奮ってのご参加をよろしくお願いいたします。

3. 大会「自由報告」の募集について

本年度も、下記要領によって、2018年度日仏社会学会大会の「自由報告」を募集いたしますので、多数ご応募ください。

- 1) 内 容 (1) フランス社会学に関するもの
(2) フランス社会（社会思想史を含む）に関するもの
(3) 日仏社会に関する広義の比較研究
- 2) 報告時間 20分（プラス5分間の質疑応答）
- 3) 申込方法 e-mailで、報告テーマ、氏名、所属を事務局までお知らせください。
e-mail : nichifutsusocio@gmail.com
- 4) 応募締切り 2018年7月26日（必着）

4. 『日仏社会学会年報』（第30号）への投稿論文等の募集について

2019年度発行予定の『日仏社会学会年報』（第30号）への論文等の投稿を、以下の要領で募集いたします。また、会員業績を年報に掲載いたしますので、2018年4月1日から2019年3月31日までの会員業績を、2019年3月31日までに下記のメールアドレスにご送付の程よろしくお願いいたします。さらに、フランスに関連する会員の著書の書評の依頼も随時受け付けています。

- 1) 原稿締切り：2019年3月31日
- 2) 原稿送付先：〒719-1197 岡山県総社市窪木1-1-1 岡山県立大学保健福祉学部
近藤理恵宛（『日仏社会学会年報』編集事務局）
電話：0866-94-2192 e-mail:kondo@fhw.oka-pu.ac.jp

3) 投稿規定

- 1) 本誌に発表する論文等は、(1) フランス社会学に関するもの、(2) フランス社会（社会思想史を含む）に関するもの、(3) 日仏社会に関する広義の比較研究のうち未発表のものに限る
- 2) 使用言語は日本語、フランス語、または英語のいずれかとする。
- 3) 論文は 400字詰め原稿用紙換算50枚程度。
(図表等を含め約20,000字。フランス語または英語の場合は約5,000語)
- 4) 研究ノートは 400字詰め原稿用紙換算30枚以内。
(図表等を含め約12,000字。フランス語または英語の場合は約3,000語)
- 5) 資料紹介、書評および内外研究動向は 400字詰め原稿用紙換算20枚以内。
(約8,000字。フランス語または英語の場合は約2,000語)
- 6) 論文、研究ノートには仏文または英文タイトルを付し、論文には 300語以内の仏文または英文の要約、研究ノートには 200語以内の仏文または英文の要約を添付する。
- 7) 原稿はワープロ原稿とし、打ち出し原稿3部にCD-Rを添えて、簡易書留にて送付のこと。

なお、原稿を送付する際に、著者名（英文付記）と所属、著者の連絡先（住所、電話、ファックス、Eメールアドレス）を書いた用紙1枚も送付のこと。

8) 図表については版下作製に別途費用を要する場合には実費負担とする。

9) 引用文献等の記述形式は以下のとおりとする。

- ・ 本文には注の番号のみを記載し、引用文献、参考文献等は末尾に置く。
- ・ 著書の場合には、著者名、書名、出版社名、出版年、引用頁を記載する。
- ・ 論文の場合には、執筆者名、論文名、掲載誌名、巻号、発行機関、発行年、引用頁を記載する。

10) 投稿論文等については、編集委員会が委嘱する審査委員による審査を行い、審査結果に基づいて掲載の可否を決定する。審査委員が指示した論文等の修正が出版期日に間に合わなかった場合、その審査は次年度に継続される。

11) 本誌に掲載された論文等の著作権は、本学会に属するものとする。ただし、著者が後日、自分の論文等を著書等に編集する場合は原則としてこれを認め、著作権料を徴収しないものとする。

12) 本誌に掲載された論文等は原則として電子化し、公開するものとする。

5. 献本のご紹介

出版社より、『フランスの社会階層と進路選択-学校制度からの排除と自己選抜のメカニズム』（園山大祐編著,勁草書房, 2018）の献本がありました。詳しい内容に関しては、出版社HPをご覧ください。

6. ホームページ、コラム欄へのご協力をお願い

本学会ホームページにおきまして、2016年4月より、コラム欄“A la recherche de Durkheim perdu”を開設し、月2回のペースで更新しております。会員持ち回りで連載しており、それぞれのフランスでの経験や日頃の研究活動からの知見が興味深く綴られております。現在までに52人の会員のみなさまに執筆いただき、読み応えのあるものになっています。ぜひ、ご寄稿にご協力いただけますよう、よろしくお願いいたします。

7. 新入会員のご紹介

小田切祐詞（神奈川工科大学）

8. 会費納入のお願い

2018年度もお早めに会費を納入くださいますようお願いいたします。2015、2016、2017年度会費未納の方は、これも併せて納入ください。2017年度の会費を納入されていない場合、年報28号が発送されません。納入が確認できしだい、発送させていただきます。会費は5,000円（院生会員は3,000円）です。なお、院生会員の方は、同封の振替用紙の通信欄に、所属大学院を記載してください。

日仏社会学会事務局

〒662-0891 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155

関西学院大学社会学部内

TEL/FAX 0798-54-6953

nichifutsusocio@gmail.com

郵便振替口座 00960 - 6 - 278804 口座名 日仏社会学会
